

青空を切り裂いて落とされた爆弾は一瞬のうち
に街を焼き尽くし、約14万人の尊い命を奪った。
広島への原爆投下から、6日で71年がたった。5
月に「核兵器なき世界」を掲げるオバマ米大統領

が広島を訪問し、自作の折り鶴を残した。市民の
間には改めて核兵器廃絶を願う思いが強まってい
る。広島市を訪ね、県人の活動や官民の取り組み
取材した。
(報道部・萩野玲子)

年の「プラハ演説」以来、期
待を寄せている。5月の広島
訪問はテレビで見守った。「態
度や折り鶴に、核兵器をなく
したいと本気で思っている
と感じた」と振り返る。

「謝罪が含まれていたら、
誰が悪かったのかと議論が71
年前までさかのぼってしまっ
ただろう」と指摘。「核兵器
のない平和な社会に向けて、
一步を踏み出す未来志向のメ
ッセージだった」と評価する。

折り鶴に

託す願い

71年後のヒロシマ

広島市の原爆資料館で、人
だかりが絶えない展示があ
る。オバマ大統領が5月の訪
問時に寄贈した4羽の折り鶴
だ。オレンジやピンクの地に
花などが描かれた和柄の紙で
折られ、2羽ずつ並んでガラ
スケースの中に置かれてい
る。

6日の平和記念式典に参列
するために同市を訪れた見
附市の中学生4人も、小さな
鶴に足を止めた。見附中の柿
坪航太さん(14)は「自分で折
ったところに、オバマ大統領
の平和への思いが伝わってき
た」と興味深そうに見詰め
た。

市民活動



オバマ大統領の折り鶴を見学
する見附市の中学生＝広島市
の原爆資料館

オバマ氏訪問を好機に 未来志向で世界平和訴え

りで、前年同期に比べて約4
割増えた。外国人観光客も目
立つという。
県原爆被害者の会の山内悦
子会長(87)＝新潟市東区＝も
「オバマさんの鶴を見たい」
と希望する一人だ。女学校に

通っていた16歳の時に被爆し
た。真っ黒にやけどした人の
行列や人が焼ける臭いが忘れ
られない。「人を人でなくす
る」核兵器の廃絶を目指して、
語り部の活動を続けてきた。
オバマ大統領には2009

謝罪がなかったことを疑問視
する声もあるが、海外支援活
動を行う広島市のNPO法人
「モースト」の津谷静子理事
長(61)＝柏崎市出身＝は、肯
定的に受け止めている。

津谷さんは「平和の尊さを
訴えるために、広島には二つ
の役割がある」と考えている。
一つは、原爆の悲惨さや被害
の実相を後世に伝えること。
もう一つは、世界中で苦しん
でいる紛争被害者らに手を差
し伸べることだ。オバマ大統
領の訪問で広島への関心がこ
れまで以上に高まっている今
が、その姿勢を広く発信する
好機だと捉えている。

津谷さんは海外で医療支援
などを行うとともに、イラン
・イラク戦争で毒ガス被害に
遭ったイランの人々を04年か
ら毎年、平和記念式典に招い
ている。イランの被害者は、
広島復興した街並みとともに
に、「米国にやり返そう」で
はなく、ひたすらに平和を願
う市民の姿に感心するとい
う。
「原爆を乗り越えてきた広
島だからこそ、苦しい状況に
いる人々に勇気を与えられる」
。確信を持って活動を続
けている。